

読み聞かせをしよう！

～小学部児童への読み聞かせ～

知的障がい 高等部2学年
国語「読み聞かせをしよう！」
利用指導・読書指導

ねらい

○伝える相手を意識して、自分なりの表現方法で読み聞かせをしながら本の世界を楽しむ。

○読み聞かせをすることを通して、小学部の児童とふれあい、つながりをもつ。

学 習 展 開

- ① 絵本の選定のポイント（学校司書）
- ② 読み聞かせのポイント（司書教諭）
- ③ 練習（教科担当）
 - ・チェックシートを活用しながら、各グループで練習を重ねる。
- ④ 練習（教科担当）
 - ・グループを合わせて全体で練習する。
- ⑤ 読み聞かせ本番（教科担当・司書教諭・学校司書）
 - ・小学部の学級、グループで読み聞かせをする。

初めは、緊張していた生徒たちですが、小学部の児童が喜んでくれ、自然と笑顔がこぼれます。



「一生懸命聞いてくれてうれしかった」と感想を述べる生徒が多くいました。



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 本校では高等部国語科の読書指導の中に司書教諭がT.Tとして参加する取り組みを行ってきたが、現在では、高等部各学年の生徒が小学部の児童へ読み聞かせをするという授業が定着した。
- 授業者、司書教諭、学校司書が授業の進め方等の打ち合わせを事前に行っている。
- 学校司書が、読み聞かせの本の選び方と選定についてアドバイスをし、司書教諭が、読み聞かせの仕方や工夫について話をし、実際の読み聞かせの様子を見てアドバイスをする。

指導のポイント

- ◆ 学校司書に相談して、選書のアドバイスをもらうことで、絵本選びがスムーズに進む。
- ◆ 練習場面では、自分たちで改善していくことができるように、チェックシートを準備したり、iPadで撮影し振り返ったりする。
- ◆ 司書教諭が実施後の評価を伝えることで達成感を持たせる。

資料

選書のポイント 読み聞かせのポイント
読み聞かせチェックシート
生徒が選定した絵本・大型絵本・大型紙芝居